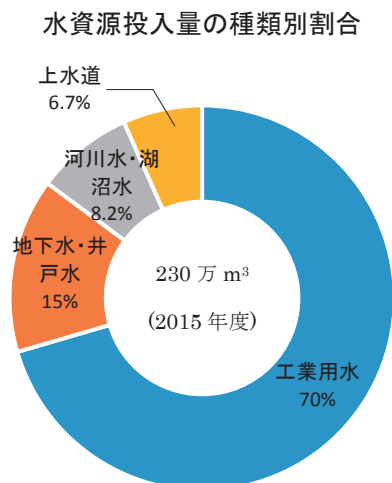
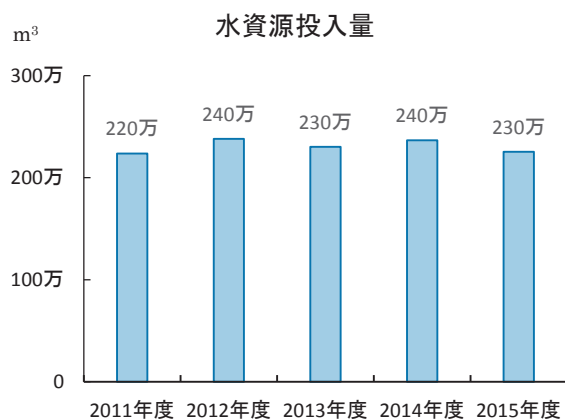


水資源と排水の管理／大気汚染防止

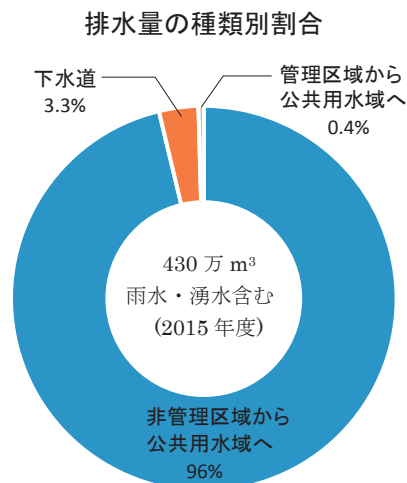
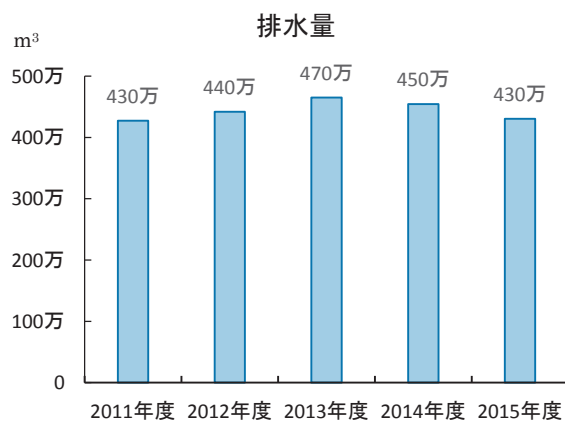
水資源は、原子炉をはじめとする研究開発施設や機器の冷却用などに使用しています。一方、排水に関しては、水質汚濁物質の排出を適切に管理しています。また、研究開発や施設の運転に伴い排出される大気汚染物質についても、法令等を遵守し、適切に管理しています。

水資源投入



原子力機構では、老朽化した水道管を交換して漏水を防ぐなど節水に努めた結果、近年は水資源投入量はほぼ横ばいとなっています。

排水量



水質汚濁物質の排出の管理

研究開発や施設の運転に伴う排水は、定期的なサンプリングにより水質測定を実施し、規制基準を遵守するように管理しています。2015年度は規制基準を超えた事例はありませんでした。今後とも排水の適切な管理を継続するとともに、万一規制基準を超えた場合は早急かつ適切に対応するよう努めます。

大気汚染物質の定期的な測定

原子力機構では、所有するボイラーや一般廃棄物処理施設（焼却施設）から発生する排気ガスについて、大気汚染防止法等に基づいて定期的な測定を行っており、測定の結果すべて規制基準値以下でした。また、ダイオキシン類の排出結果もすべて規制濃度以下でした。

原子力機構では、廃棄物の適正な分別や再資源化を推進し、焼却施設での焼却量の減量に努めています。